

自治体名	長崎県 長与町
------	---------

女性の健康づくり対策の概要

・乳幼児相談（おやこ相談）の場を利用して保健師、看護師、管理栄養士による母親のための健康相談、栄養相談、血圧測定、検尿を実施し母親の健康チェックを行う。特に妊娠中に高血圧症であったり、糖尿病であったりした母親については継続してフォローを行う。

自治体の特徴

長崎市のベッドタウンとして年々人口が増加し、平成 11 年には 4 万に達したが近年は 4 万 2 千人前後で推移している。平成 20 年度末の世帯数は 15,651、1 世帯当たりの人数は 2.7 人と核家族化が進んでいるとともに少子高齢化も進んでいる。また、転出・転入者が 4700 人前後おり、転出入が多い状況にある。町内には幼稚園・保育所から小中学校、県立高校、県立大学があり学園都市という側面もあり充実した教育環境にある。

人口構成（H22. 2. 28 現在）

	総数	男	女
人	42699	20387	22312
割合(%)		47.7	52.3

15歳未満	7150	3727	3423
15～64歳	27821	13329	14492
65歳以上	7728	3331	4397
75歳以上	2960	750	2210
85歳以上	971	273	698

女性に関する健康課題

- ①思春期の女性の健康状況を把握していないため課題が見いだせない。
- ②平成 20 年度の妊婦の健診は延べ 2284 人受診し、内、異常のある人は 546 人（23.9%）で、内訳として貧血 360 人、高血圧・蛋白尿・浮腫 110 人、妊娠中毒症 1 人、その他 129 人となっており、約 4 人に 1 人は何らかの異常がある。
出産とともに疾病も軽減されることがあるが、子供のことが一番になり自分自身の健康はお座成りにされる傾向にある。

事業費（千円）

- | | |
|-----------------------|-----|
| （1）女性の健康づくりに関する事業（総額） | 128 |
| （2）報告事業（再掲） | 128 |

事業名	婦人の健康相談
分野	<input type="checkbox"/> 健康教育 <input type="checkbox"/> 健康手帳の交付 <input checked="" type="checkbox"/> 健康相談 <input checked="" type="checkbox"/> 知識の普及 <input checked="" type="checkbox"/> 啓発普及
事業費（千円）	

事業目的

- ① 母親の健康維持増進
- ② 妊娠中の疾病のフォロー

事業対象

乳幼児を持つ母親

事業実施体制・展開

母子保健事業の一つである「おやこ相談」事業に「婦人の健康相談」をプラスして月2回実施している。

「おやこ相談」事業は乳幼児を対象に自由に来所してもらい、相談や計測、遊びのみ等選択してもらう。「婦人の健康相談」も相談希望がある母親が対象となる。

- ① 受付でおやこ相談申込書に希望される相談内容を記入して提出してもらう。相談項目は大きく分けて「母親自身の健康相談」、「子どもの相談」、「食事の相談」の項目がある。
- ② 保健師、看護師、管理栄養士は希望される相談項目に応じて個別相談を実施する。
- ③ 母親自身の健康相談を希望される場合は血圧測定、検尿等を実施し、相談にのる。必要ならば病院受診の勧奨を行ったり、次回の相談へつなげたりする。

事業目標・評価項目 及び その結果

（事業の目標）

20代、30代から健康への意識付けを行うとともに生活習慣病の予防と重篤化の帽子につなげる

（評価項目）

平成20年度実績

- ①相談人数…298人 ②40歳未満の健診受診者数…181人

事業の工夫点

母子保健事業と同時に実施することにより母親の利便性や簡易性を図った。

事業の効果についての評価・考察

平成18年度「おやこ相談」利用者 964人 内「婦人の健康相談」282人

平成19年度「おやこ相談」利用者 1019人 内「婦人の健康相談」290人

平成20年度「おやこ相談」利用者 1096人 内「婦人の健康相談」298人となっており、3割近い人が何らかの相談を行っていた。相談内容としては日頃の健康状態の確認やストレス、妊娠中の疾病について等幅広い内容となっている。わざわざ病院に行くまでではない、子供もいるから病院にかかれぬ等の状況にある母親にとっては子供の相談と合わせて気軽に相談できるということが受け入れられていると考えられる。また、妊娠中に体重増加が著しかった人や糖がプラスだった人、血圧が高かった人等については継続して指導できると友に早い時期から介入が出来、生活習慣病の予防や重篤化の予防につながっている。

今後の課題

乳幼児健診と「婦人の健康相談」事業との連携を強化し、乳幼児健診で母親の健康に異常や不安があった場合積極的に「婦人の健康相談」を活用していく必要がある。

ホームページ	
照会先	長崎県長与町健康保険課健康増進係 095-883-1111

事業評価	(自己評価)	
①活動内容	4	乳幼児をかかえる母親にとっては気軽に相談できる場となっている。また、乳幼児ばかりでなく母親を含めた家庭としての健康づくりにつながっている。
②独創性	4	母子保健事業と同時に実施している自治体は近隣に見あたらない。
③普遍性	4	「婦人の健康相談」のための新たな時間を設ける必要もなく取り組みやすいと考えられる。
④将来性	5	「おやこ相談」事業は継続して行う予定にしているため今後も引き続き実施する。
⑤効果度	3	健康に対する意識づけにはなっているが行動変容までは至っていないケースもある。
⑥信頼度	4	行動変容がどのくらい出来たか数的把握を行っていないが乳幼児をかかえる母親にとっては気軽に相談できる場となっている。

